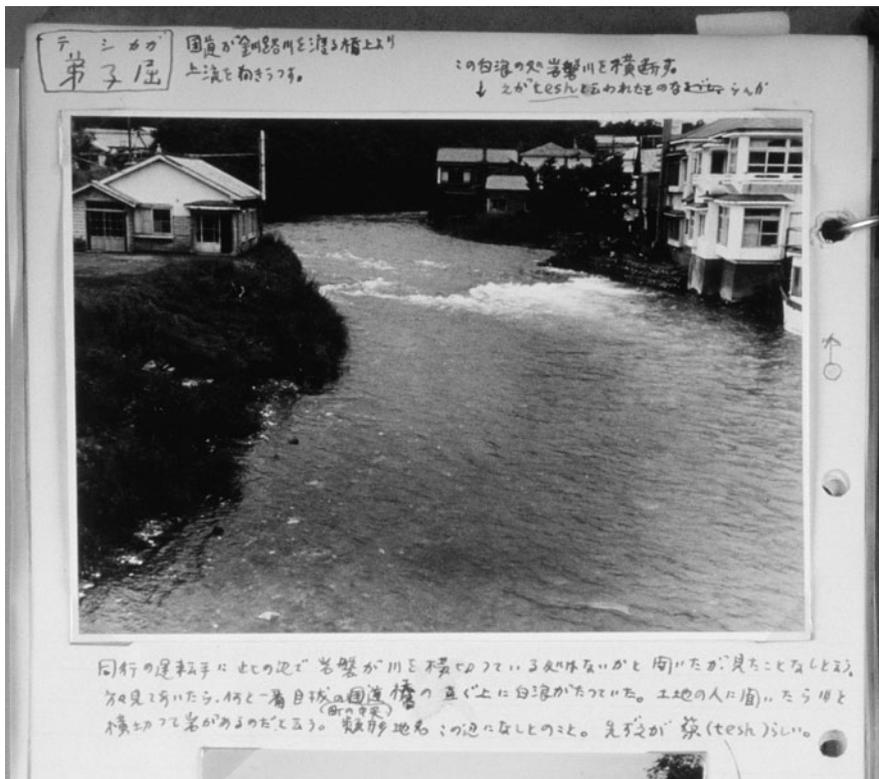


アイヌ民族文化研究センターだより NO.25

2006年9月

もくじ

- ・[山田秀三文庫の資料から] 弟子屈市街を流れる釧路川 1
- ・[研究課題紹介] 十勝地方のアイヌ語の調査研究（基礎語彙）について 2
- ・[『ボン カンピソ』の写真から][1] サハリン（樺太）の木綿衣 3
- ・[公開資料の紹介] 平成18年度に新たに公開した資料 4
- ・資料閲覧コーナーを模様替えしました 5
- ・寄贈を受けた資料 6
- ・お知らせ 8



[山田秀三文庫の資料から] 弟子屈市街を流れる釧路川（1960年撮影）

当時の国道（現在の弟子屈橋）から上流向きに写したもの。上下の書き込みは山田秀三氏による。氏が釧路から阿寒、弟子屈などをへて網走へと調査した時の記録より（資料番号YF0147）。

「弟子屈市街は釧路川最上流の賑やかな処で、屈斜路湖や摩周湖を訪れる人の必ず立ち寄る街。また弟子屈町は釧路川源流一帯の土地で、町内のどこを歩いても風光が素晴らしい。日本最高の自然の中の町だろうか。

弟子屈はテシ・カ・カ（tesh-ka-ka）。テシは元来は網み連ねたもの、ふつうは魚を捕るための築であるが、地名に残っているテシの多くは、岩盤が川を横断して築のような姿をしている処である。弟子屈の場合も岩盤がここで釧路川を横切っているの、そのことであろう。

次にカ（ka 上、岸）が二つ続いていて、実は読みにくい。知里博士小辞典はそれを「ヤナの・岸の・上」と訳された。カは軽い意味で添えられることがあって、例えばヌナカといってもヌナ（野）と事実上は同じことであった。この場合もテシカでそういった岩盤の処を意味するようになっていて、その岸ということを用いるために、もう一つカをつけたのでもあったらうか。」(山田秀三『北海道の地名』草風館、2000年)

*この写真は、9月30日から帯広百年記念館で開催している企画展「アイヌ語地名を歩く」の会場で展示しています。企画展については、8ページをごらんください。

研究課題紹介

「十勝地方のアイヌ語の調査研究（基礎語彙）」^{きそごい}について

道内各地のアイヌ語について、研究の成果や資料が乏しいとされる地域で調査研究を進めることが当センターの事業推進方針の一つになっています。

ここで紹介する十勝地方のアイヌ語は、研究成果や研究資料の蓄積が乏しく、基礎資料の収集や提供が求められていました。そこで、基礎資料の作成を目的として「十勝地方のアイヌ語の調査研究（基礎語彙）」（平成7年～17年）を研究課題に挙げ、基礎語彙の収集、整理、分析を行いました。このほど、調査研究の成果を報告書として刊行しましたので、調査の概要と合わせてお知らせいたします。

* * *

「基礎語彙」とは、定義にもよりますが、使われる回数が多く、日常生活には欠かせない単語をさしています。例えば、「頭」「手」「お父さん」「お母さん」などの名詞や、「笑う」「走る」などの動詞を中心に数詞、形容詞、副詞などです。これを効率よく収集するためには、基礎語彙調査表を用います。本研究では『アイヌ語方言辞典』¹（以下『方言辞典』とよぶ）を用い調査を行いました。

『方言辞典』は、1950年代に、数人の言語学者が北海道の8箇所（地図を参照）と樺太のライチシカの各方言を一つの基礎語彙調査表を用いて調査し、公刊されました。日本語の見出し語「頭」「髪の毛」など約2,000語が並んでいます。この見出し語に該当する意味のアイヌ語の単語を聞き取り、書き取ることで調査を進めました。

アイヌ語の調査は、沢井トメノさん²に協力していただきました。どのような音が現われるか調べ、それから、単語の形や、単語の意味、アクセントについて調査をしました。

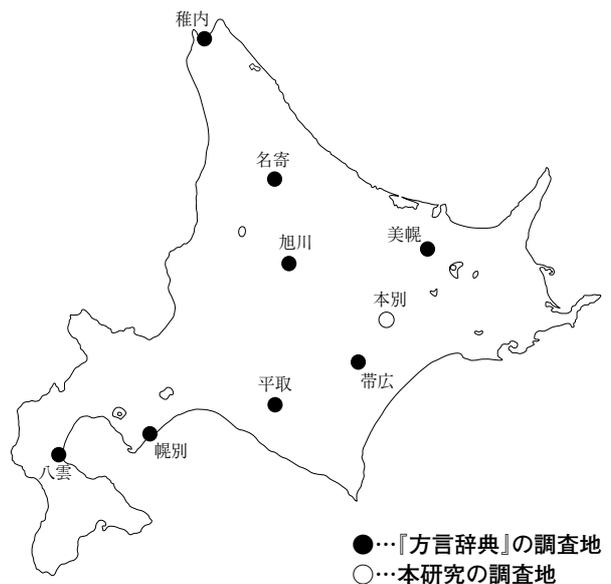
これまでアイヌ語研究は、日高の沙流川流域を中心に進められており、また、十勝のアイヌ語についても不明な点が多くあります。この報告書が刊行されることで、これまでアイヌ語研

究において定説となっている考え方に新しい考え方が加えられる可能性が大いにあります。

最終的には、日本語の見出し語約2,000語に対して、アイヌ語の単語も約2,000語を集めました。また、単語と共に例文も録音し、整理をして和訳をつけました。巻末には索引を付けて、調査報告書『アイヌ語十勝方言の基礎語彙集 —本別町・沢井トメノのアイヌ語—』を刊行しました。今後はこの報告書を用いて、アイヌ語の研究をさらに進めていきたいと考えています。

なお、調査で録音した資料は、今後センターで順次公開する予定です。

（研究職員 澤井春美）



¹ 服部四郎（編）（1964）『アイヌ語方言辞典』、岩波書店

² 十勝地方本別町に住んでいた沢井トメノさん（1906～2006年2月）は、10歳前後までアイヌ語で生活をしていました。

『ポン カンピソッ』の写真から

当研究センターでは、1995（平成7）年度から2004（平成16）年度までの10年間、アイヌ文化をテーマごとにわかりやすく紹介するアイヌ文化紹介小冊子『ポン カンピソッ』を毎年1冊ずつ発行してきました。その中で、アイヌ文化に関する様々な資料や昔の生活用具などを紹介するため、200点を超える写真を掲載してきました。

このコーナーでは、それらの中から1つの写真を取り上げ、そこに写っている資料に関する補足や、関連する別の写真の紹介などを行っていきます。小冊子では、紙面の制約などもあって、「写真をごらんください」というかたちで説明を終えていることが多いのですが、その写真から話を引き継いで、小冊子の中身を補ったり、広げたりしたいと考えています。

[1] サハリン（樺太）の木綿衣



この写真は、小冊子2「着る」の18ページに載せたものです（衣服は上野千春氏所蔵、写真は(財)アイヌ民族博物館提供）。アイヌの衣服のうち木綿を素材にした衣服について、いくつかの地域をとりあげ、それぞれの地域の昔の木綿衣を紹介した写真の中の一つです。

一見して、着物の形が和服に似ていると思われた方が多いと思います。確かにこの衣服は、文様を縫いつけた切り伏せなどにはサハリンのアイヌの衣服の特徴がよく表れているとされますが、形そのものは和服仕立てで作られています。なぜ和服仕立てなのか、それは、小冊子でこの写真のキャプションに書いた「1876年に石狩に移住した人たちが作ったものです」という説明と関わっています。

* * *

1875（明治8）年、日本とロシアは樺太千島交換条約を結びました。日本政府は、この条約に至るロシアとの交渉の中で、サハリンや千島に住むアイヌは日本政府の統治下にある、ゆえにアイヌの住むところは日本領だ、と主張しました。条約の結果、サハリンはロシア領になったのですが、政府は、この主張の建前をつらぬくために、サハリンのアイヌに対して北海道への移住を強く勧誘しました。その結果、841名が宗谷に移住し、翌年に石狩つしかりの対雁（現江別市内）に入ります。

この移住はかなり強制的に行われたことが当時の記録からわかっており、対雁の生活条件も十分ではありませんでした。800名を超える人々を一箇所に集団で住ませたため、伝染病が流行したときには半数近い死者を出す事態なども招いています。

こうしたこともあって、日露戦争後にサハリンが日本領になると、ほとんどの人は故郷に帰りました。このような中で、対雁に移住させられた人々に関わる仕事に従事し、サハリンへの帰郷にも同行して世話係のような仕事をつとめたのが、鹿児島出身の上野源兵衛という人です。この着物は、サハリンのアイヌから上野源兵衛氏の夫人に送られた品で、そのため和服仕立てで作られたのだと言われています。明治以後のサハリンのアイヌの人々の歴史の一端を、伝える着物でもあるのだと思います。

* * *

ここに述べた、この衣服に関わる物語については、『シンポジウム アイヌの衣服文化』（アイヌ民族博物館、1994年）で紹介されています。また、この衣服のサイズなどのデータについては『アイヌの衣服文化』（同、1991年）に掲載されています。



なお、和服仕立てでない衣服の例として、左の写真の資料を紹介しておきます。これはロシア民族学博物館が所蔵する資料で、サハリ

ンのトンナイ（富内）で収集したとの記録が残っています。

*当研究センターのホームページに、この記事に掲載した写真のカラー版を掲載します。

公開資料の紹介

平成18年度に新たに公開した資料

2006（平成18）年度に新たに公開した資料の一覧です。

研究センター音声資料 研究センター職員による採録資料

原資料番号	タイトル	主な語り手	採録地	公開用資料番号
C C 000329	平取町の伝承 9	上田とし	平取町旭／上田トシ氏宅	C C 800082
C C 000334	平取町の伝承 10-1	上田とし、鍋沢キリ	平取町去場／鍋沢キリ氏宅	C C 800083
C C 000335	平取町の伝承 10-2	上田とし、鍋沢キリ	平取町去場／鍋沢キリ氏宅	C C 800084
C C 000339	平取町の伝承 11-1	上田とし、鍋沢キリ	平取町去場／鍋沢キリ氏宅	C C 800085
C C 000339	平取町の伝承 11-2	上田とし、鍋沢キリ	平取町去場／鍋沢キリ氏宅	C C 800086
C C 000344	平取町の伝承 12	上田とし	平取町旭／上田トシ氏宅	C C 800087
C C 000345	平取町の伝承 13-1	上田とし	平取町旭／上田トシ氏宅	C C 800088
C C 000345、C C 000346	平取町の伝承 13-2	上田とし	平取町旭／上田トシ氏宅	C C 800089
C C 001249	上野サダさんの伝承 2	上野サダ	帯広市／上野サダ氏宅	C C 800090
C C 001180、C C 001181	三石地方の伝承 3		三石町	C C 800091
C C 000441	鍋沢キリさんの伝承 1	鍋沢キリ	平取町去場／鍋沢キリ氏宅	C C 800092
C C 000454	鍋沢キリさん、能登谷シゲさんの伝承 1	鍋沢キリ、能登谷シゲ	平取町去場／鍋沢キリ氏宅	C C 800093
C C 000454、C C 000455	鍋沢キリさん、能登谷シゲさんの伝承 2	鍋沢キリ、能登谷シゲ	平取町去場／鍋沢キリ氏宅	C C 800094
C C 000406	鶴川に伝わるアイヌ文化 : 新井田セイノさんと笹村トヨさん	新井田セイノ、笹村トヨ	鶴川町末広町／鶴川中央生活館	C C 800095
C C 000417	鶴川に伝わるアイヌ文化 : 新井田セイノさん	新井田セイノ	鶴川町末広町／鶴川中央生活館	C C 800096
C C 000439	鶴川に伝わるアイヌ文化 : 三上トシ子さん (その1)	三上トシ子	鶴川町末広町／鶴川中央生活館	C C 800097
C C 000439	鶴川に伝わるアイヌ文化 : 三上トシ子さん (その2)	三上トシ子	鶴川町末広町／鶴川中央生活館	C C 800098
C C 000444	鶴川に伝わるアイヌ文化 : 吉村冬子さん (その1)	吉村冬子	鶴川町末広町／鶴川中央生活館	C C 800099
C C 000444	鶴川に伝わるアイヌ文化 : 吉村冬子さん (その2)	吉村冬子	鶴川町末広町／鶴川中央生活館	C C 800100
C C 000447	鶴川に伝わるアイヌ文化 : 三上アツ子さん	三上アツ子	鶴川町末広町／鶴川中央生活館	C C 800101
C C 000297、C C 000298	江賀寅三さんの思い出 : 森崎幸雄氏、森崎マツエ氏	森崎幸雄、森崎マツエ	静内町／静寿園	C C 800102
C C 000642	日川キヨさんの伝承	日川キヨ	弟子屈町／日川キヨ氏宅	C C 800103
C C 000651	上野サダさんの伝承 1	上野サダ	帯広市／上野サダ氏宅	C C 800104
C C 000539	青木トキ氏の伝承 1-1	青木トキ	平取町二風谷／青木氏宅	C C 800105
C C 000540	青木トキ氏の伝承 1-2	青木トキ	平取町二風谷／青木氏宅	C C 800106
C C 000546	青木トキ氏の伝承 2	青木トキ	平取町二風谷／青木氏宅	C C 800107
C C 000552	青木トキ氏の伝承 3-1	青木トキ	平取町二風谷／青木氏宅	C C 800108
C C 000552、C C 000553	青木トキ氏の伝承 3-2	青木トキ	平取町二風谷／青木氏宅	C C 800109
C C 000570	青木トキ氏の伝承 4 (その1)	青木トキ	平取町二風谷／青木氏宅	C C 800110
C C 000570	青木トキ氏の伝承 4 (その2)	青木トキ	平取町二風谷／青木氏宅	C C 800111

複製・寄贈による資料

C C 001017	江丹別・幌加内・オサラッペを廻る 山田秀三先生と共に (杉村満氏録音)	山田秀三 (調査)、久保国一、西河義一、岸本信一、ほか (語り手)	旭川市江丹別、幌加内町下幌加内ほか	C C 800112
------------	-------------------------------------	-----------------------------------	-------------------	------------

山田秀三文庫 音声資料

原資料番号	タイトル	主な語り手	採録地	公開用資料番号
Y C 000013-02	アイヌ史研究会における金田一京助氏の講演など	金田一京助、萱野茂、久保寺逸彦 ほか	東京都	Y C 800019
Y C 000127	アイヌ口承文芸 : 平賀さだ氏 1	平賀さだ	門別町富川	Y C 800020
Y C 000012	アイヌ口承文芸 : 平賀さだ氏 2	平賀さだ	門別町富川	Y C 800020、21
Y C 000034	穂別地方の地名調査など	平賀さだ	門別町富川	Y C 800022
Y C 000022	平賀さだ氏が語る 自分の半生	平賀さだ	門別町富川	Y C 800023
Y C 000115	アイヌ口承文芸 : 貝澤とろしの氏 1	貝澤とろしの	平取町二風谷	Y C 800024-01
Y C 000114	アイヌ口承文芸 : 貝澤とろしの氏 2	貝澤とろしの	平取町二風谷	Y C 800024-02
Y C 000025	記録映画「アイヌの結婚式」について	萱野茂、小山妙子、木村うしもんか、二谷善之助	平取町二風谷	Y C 800024-03
Y C 000017-01	歌と口承文芸 : 伏根ヤヨ氏	伏根ヤヨ	帯広市	Y C 800025-01
Y C 000017-02	カムイノミ : 古畑ハル氏	古畑ハル	弟子屈町	Y C 800025-02
Y C 000131	アイヌ口承文芸 : 四宅ヤエ氏	四宅ヤエ	白糠町	Y C 800025-03
Y C 000036	アイヌの芸能 : 砂沢クラ氏	砂沢クラ	札幌市	Y C 800025-04
Y C 000107	白老のリムセ	田中栄子、ほか	札幌市	Y C 800025-05
Y C 000126	ムックリの演奏 : 萱野ヨネ氏	萱野ヨネ	不明	Y C 800025-06
Y C 000024	アイヌ口承文芸 : 八重九郎氏 1	八重九郎	鶴居村	Y C 800026-01
Y C 000027	カムイノミ : 八重九郎氏	八重九郎	釧路町遠矢	Y C 800026-02

久保寺逸彦文庫 音声資料

原資料番号	タイトル	主な語り手	採録地	公開用資料番号
K C 000048	民俗調査 鶴川 2-1	本田ミネ	鶴川町春日	K C 800019
K C 000048	民俗調査 鶴川 2-2	本田ミネ	鶴川町春日	K C 800020
K C 000049	民俗調査 鶴川 3-1	本田ミネ	鶴川町春日	K C 800021
K C 000049	民俗調査 鶴川 3-2	本田ミネ	鶴川町春日	K C 800022
K C 000050	民俗調査 鶴川 4-1	本田ミネ	鶴川町春日	K C 800023
K C 000050	民俗調査 鶴川 4-2	本田ミネ	鶴川町春日	K C 800024-01
K C 000051-01	民俗調査 鶴川 5	本田ミネ	鶴川町春日	K C 800024-02
K C 000116	民俗調査 白糠 3-1	四宅ヤエ	東京都	K C 800025
K C 000116	民俗調査 白糠 3-2	四宅ヤエ	東京都	K C 800026
K C 000116	民俗調査 白糠 3-3	四宅ヤエ	東京都	K C 800027
K C 000117	民俗調査 白糠 4	四宅ヤエ	東京都	K C 800028
K C 000074	アイヌ口承文芸 白糠	四宅ヤエ	不明 (白糠町か)	K C 800031
K C 000029	民俗調査 旭川 1-1	杉村キナラブック	旭川市	K C 800032
K C 000029	民俗調査 旭川 1-2	杉村キナラブック	旭川市	K C 800033
K C 000014	民俗調査 旭川 2-1	杉村キナラブック	旭川市	K C 800034
K C 000014	民俗調査 旭川 2-2	杉村キナラブック	旭川市	K C 800035
K C 000023-02	民俗調査 旭川 3	杉村キナラブック	旭川市	K C 800036-01
K C 000022	lhunke その他	杉村キナラブック	旭川市	K C 800036-02
K C 000075	アイヌ口承文芸 (砂沢クラ氏)	砂沢クラ	札幌市	K C 800037

山田秀三文庫 文書資料

原資料番号	タイトル	
Y F 000019	室蘭 昭和51年 9月	1976 (昭和51) 年 9月 から12月 にかけての室蘭調査の記録。
Y F 000020	旭川 美瑛、留辺志部 48	1973 (昭和48) 年、旭川から美瑛川筋と留辺志部川筋を調査した記録。
Y F 000023	II 夕張、由仁、長沼 55	1980 (昭和55) 年、札幌から長沼、由仁、夕張と調査した記録。
Y F 000025	岩見沢	1972 (昭和47) 年、岩見沢附近の機春別、幌内、幌向等と調査した記録。
Y F 000027	留萌附近 増毛	1973 (昭和48) 年、札幌から深川経由で留萌、増毛、カムイエトを往復した調査の記録。
Y F 000031	倶知安 53	1978 (昭和53) 年、倶知安からニセコ、小沢、稲穂峠と調査した記録。
Y F 000039	瀬棚久遠紀 I 国縫、利別、瀬棚	1974 (昭和49) 年、長万部から国縫、利別川筋、今金、北松山、瀬棚、太櫓川筋、久遠と調査した中の、国縫から瀬棚町の須築までの記録。
Y F 000040	瀬棚久遠紀 II 太櫓、久遠	Y F 000039の続き。太櫓からせたな町太田までの記録。
Y F 000046	発寒川筋、手稲 60	1985 (昭和60) 年、札幌の発寒川筋から手稲を調査した記録。
Y F 000148	釧路、昆布森、厚岸 53	1978 (昭和53) 年 2月 21日、釧路から海岸沿いに昆布森、厚岸、床潭等を調査した記録。
Y M000079	太櫓川筋旧図	せたな町の太櫓川の川筋図。
Y M000267	太櫓川筋旧図 (山田秀三氏による写し)	Y M000079を山田秀三氏が書き写した写図。
Y M001068	山城屋旧蔵蝦夷地全図	

資料閲覧コーナーを模様替えしました。

今年4月から8月にかけて、資料閲覧コーナーを少し模様替えして、公開資料の利用の利便性を高めるとともに、このコーナーで閲覧できる資料を増やしました。

1 音声資料は、パソコンで直接聞けるようになりました。

音声資料の公開は、これまでCDで聞いていただいていたのですが、6月から、公開している全ての資料をパソコンのハードディスクに入れ、パソコンで直接聞けるようにしました。これにより、CDの出納をその都度申し込んでいただく必要がなくなるとともに、パソコンの画面で資料や資料の中のトラックを指定し、それを聞けるようになりました。

2 文書資料の公開用資料を、書架に置くようになりました。

7月から、資料閲覧コーナーに書架を増やし、山田秀三文庫の文書資料の公開用の複製を置くようにしました。公開している文書資料については、閲覧コーナーで直接手にとって中身を見ることができるようになりました。

3 その他、資料閲覧コーナーに置くデータを若干増やしました。

これまで、研究センターで内部の参考資料として収集し整理していたデータの一部を、7月から資料閲覧コーナーに置くようにしました。現在閲覧できるのは、次のデータです。

新聞記事の切り抜き：研究センターで講読している新聞(『北海道新聞』『朝日新聞』『毎日新聞』『読売新聞』『日本経済新聞』)を毎朝職員が通覧し、確認できた関係記事を切り抜き

して、1～2週間ごとにファイルしています。今年1月からのものが閲覧できます。

行事や展示の案内：研究センターに送付される、アイヌ文化関係の行事や博物館等の展示のチラシや研究センターが収集したチラシをファイルしています。今年4月からのものが閲覧できます。

*なお、いずれも研究センター内の業務の参考資料として整理しているものですので、一部のデータの欠落や、多少整頓されていない状態の部分もありますが、どうぞご了承ください。

ただし、音声資料を視聴できる機械は、これまでと同様に1台だけです。ご利用の場合は予め研究センターにご連絡ください。

また、資料閲覧コーナーご利用の際は、記録票に記入していただくことになっておりますので、ご協力をお願いします。



音声資料の試聴用パソコン



公開している文書資料

寄贈を受けた資料 (2006年3月～8月)

発行者名の五十音順に資料名を掲載しています。

資料を寄贈していただいた方々・機関にお礼申し上げます。

アールアイシー出版株式会社

・The Ainu and the Fox (萱野茂 (作)、石倉欣二 (絵))

アイヌ語地名研究会

・アイヌ語地名研究会会報 第26、27号

アイヌ文化振興・研究推進機構

・やなぎのはのさかな
・パイェアン ロ 触れてみよう アイヌの文化 (2006年版)
・Paye=an ro (上記の英語版)
・第9回アイヌ語弁論大会報告書
・アイヌ語ラジオ講座テキスト 平成18年度Vol.1、2
・アイヌ生活文化再現マニュアル 編むゴザ、先祖供養 シンヌラッパ・イアレ
・平成17年度普及啓発セミナー報告集
・平成17年度普及啓発講演会報告集
・財団のあらまし 平成18年度

アイヌ民族博物館

・アイヌ民族博物館研究報告 第9号
・トンコリを中心とした西平ウメの伝承及びトンコリの総合的研究報告書
・西平ウメとトンコリ

アイヌ無形文化伝承保存会

・神々の物語 (再版)

青森県立郷土館

・青森県立郷土館だより Vol.37 No.1、2
・青森県立郷土館報 通巻33号
・青森県立郷土館調査研究年報 第30号

青森県

・青森県史だより 第14号
・青森県史 資料編 近世3

浅井学園大学短期大学部

・浅井学園大学短期大学部研究紀要 第44号

旭川市

・新旭川市史 第3巻通説3

アジア・太平洋人権情報センター

・国際人権ひろば No.66、67

厚岸町教育委員会

・池田家古文書 儀右衛門日記 1～3
・池田家古文書 順蔵日記

厚真町教育委員会

・厚真町鯉沼3遺跡 (2)
・上幌内モイ遺跡 (1)

いしかり砂丘の風資料館

・エスチュアリ No.23、24

伊能忠敬記念館

・伊能忠敬記念館年報 第7号
・伊能忠敬関係資料目録 下図

今石みぎわ (著)

・「花とイナウ」をよむ：アイヌと和人の削りかけ、比較研究への覚書

浦添市教育委員会文化部

・よのつち 浦添市文化部紀要 第2号

浦幌町立博物館

・浦幌町立博物館年報 第6号
・浦幌町立博物館紀要 第6号

帯広市教育委員会

・帯広叢書 第55巻 吉田巖資料集21

帯広二建会

・十勝アイヌ語地名
帯広百年記念館
・帯広百年記念館紀要 第24号

オホーツク文化資料館

・地名アイヌ語資料集 (伊藤せいち著)
・オホーツク文庫 レラ1、4

海津市歴史民俗資料館

・海津市歴史民俗資料館館報 平成17年度学

学習院大学史料館

・学習院大学史料館収蔵史料目録 第20号
小西四郎収集史料 絵双六
・ミュージアム・レター 第1号

神奈川大学日本常民文化研究所

・歴史と民俗 神奈川大学日本常民文化研究所 論集22
・民具マンスリー 第38巻第10～12号、第39巻第1～3号

九州歴史資料館

・九歴だより No.23
・九州歴史資料館年報 平成17年度
・筑前宮前清水寺 九州の寺社シリーズ20
京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター
・四天王寺聖霊会舞楽・能生町白山神社舞楽・遠江国一宮小國神社古式舞楽における太平楽 (秦平楽) の三者比較

釧路アイヌ文化懇話会

・会報 久摺 第245号

釧路公立大学

・釧路公立大学紀要 人文・自然科学研究 第18号

群馬県立文書館

・群馬県立文書館年報 平成17年度版

航空科学振興財団歴史伝承委員会

・歴史伝承委員会調査報告書 第2号
・歴史伝承委員会だより 第4号

高知県牧野記念財団

・高知県立牧野植物園だより No.25、26
・高知県立牧野植物園年報 第5号

神戸市立博物館

・博物館だより No.89
・神戸市立博物館年報 No.21 平成16年度
國學院大學学術フロンティア事業実行委員会

・「劣化画像の再生活用と資料化に関する基礎的研究」事業報告

・人文科学と画像資料研究 第3集

・大場磐雄博士写真資料目録Ⅱ
・柴田常忠写真資料目録Ⅱ

国立民族学博物館

・研究年報2004
・MINPAKU Anthropology Newsletter No.21、22
・国立民族学博物館研究報告 第30巻第3、4号

・民博通信 No.112、113

札幌学院大学学芸員課程

・札幌学院大学学芸員課程 年報19

札幌国際大学

・札幌国際大学紀要 第37号

札幌市教育委員会

・札幌の歴史 第50号

沙流川歴史館

・沙流川歴史館だより No.21、22
・沙流川歴史館年報 第7号

滋賀県立琵琶湖博物館内 うおの会事務局

・琵琶湖流域の水環境を守るために
・魚つかみを楽しもう

滋賀県立琵琶湖博物館

・水辺の生き物 第18回水族企画展示
・うみんど 琵琶湖博物館だより 第38、39号

滋賀大学経済学部

・近世・近代商家活動に関する総合的研究 (研究代表者：宇佐美秀機)

滋賀大学経済学部附属史料館

・滋賀大学経済学部附属史料館研究紀要 第39号

静内町郷土史研究会

・静内町歴史小専典

下妻市ふるさと博物館

・館所蔵文学資料目録 第1集 磯山松男宛 中山省三郎書簡

下村隆之 (著)

・オーストラリアの遠隔地域における先住民教育の課題 (『日本都市社会学会年報』23号抜刷)

社会福祉研究センター

・草の根福祉 第37号

世界人権宣言大阪連絡会議

・世界人権宣言大阪連絡会議ニュース No.283～287

善光寺

・善光寺資料総目録

先住民族の10年市民連絡会

・先住民族の10年News 第122～126号

創価大学社会学会

・ソシオロジカ Vol.30 No.1、2

高木崇世 (著)

・『東蝦夷地屏風』と『東蝦夷地名考』(『アイヌ語地名研究』8抜刷)

・北海道の古地図 (五稜郭タワー株式会社)

伊達市噴火湾文化研究所

・Newsletter 噴火湾文化 創刊号

千葉大学文学部

・ツングース言語文化論集32 ナーナイの民話と伝説9

鶴岡書店

・北辰軸 小説 北海道開拓の雄 松本十郎 (板垣昭一著)

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化

研究所、記述言語研究室

・ツングース言語文化論集31 ウデヘ語テキスト2

・表記の習慣のない言語の表記 (塩原朝子・児玉茂昭編)

・東京外国語大学記述言語学論集 思言 第1号

東京都江戸東京博物館

・江戸東京博物館NEWS Vol.53、54

東北学院大学文学部

・13～19世紀における列島北方地域史とアムール川流域文化の相互関連に関する研究 (研究代表者：榎森進)

東北大学東北アジア研究センター

・東北大学東北アジア研究センターニューズレター CNEAS 第28、29号

東北電力広報・地域交流部

・白い国の詩 通巻594、595号

東洋音楽学会

・東洋音楽学会 会報 第66号

遠野物語研究所

・遠野文化誌 第38号
 ・遠野物語研究 第9号
 ・遠野ゼミナール 2005 講義記録『遠野物語』と北の文化

徳島県立文書館

・文書館だより 第26号
 ・第31回資料紹介展 学校の宝物
 ・第31回企画展 江戸時代阿波の交通路
 ・年報 第9号 平成17年度

苫小牧駒澤大学

・苫小牧駒澤大学紀要 第15号

苫小牧市博物館

・苫小牧市博物館だより No. 55
 ・苫小牧市博物館 館報 第3号

富山県 [立山博物館]

・研究紀要 第13号
 ・年報 2006年 第15号

長野県立歴史館

・長野県立歴史館だより Vol. 46
 ・長野県立歴史館研究紀要 第12号
 ・長野県立歴史館だより Vol. 47

名寄市北国博物館

・北国研究集録 第10号

南山大学人類学博物館

・南山大学人類学博物館紀要 第24号
 ・南山大学人類学博物館年報 2005年度

日本口承文芸学会

・口承文芸研究 第24～29号

日本地図センター

・地図中心 通巻396号

沼津市明治史料館

・沼津市明治史料館通信 第21巻第3、4号

根室市教育委員会

・根室市鳥類生息調査報告書

根室市自然と歴史の資料館

・根室市自然と歴史の資料館紀要 第20号
 ・くるまいし 根室市自然と歴史の資料館だより No. 21

函館市総務部市史編さん室

・はこだて市史編さん室だより No. 6

函館市教育委員会

・垣ノ島A遺跡
 ・史跡大船遺跡
 ・函館市白尻小学校遺跡

早来町教育委員会

・早来町富岡3遺跡・新栄2遺跡

反差別国際運動日本委員会

・IMADRJC通信 No. 141～143

ヒュージ

・「布が伝える和のこころ」展

平取町二風谷アイヌ語教室

・二風谷アイヌ語教室 広報紙 第82号

広島県立歴史民俗資料館

・歴風 第41号
 ・年報 第25号 平成16(2004)年度
広島市公文書館

・広島市公文書館所蔵資料目録 第35集 写真目録 (広報課撮影分)

福岡イト子

・アイヌの精神文化を通して植物をみる (『北方山草』25号抜刷)

仏教大学文学部

・仏教大学文学部論集 第90号

部落解放・人権研究所

・研究所通信 No. 331～336

フローニンゲン大学

・ニヴフ語音声資料3 プグスク (白石英才、ガリーナ ローク)

文化学園図書館

・図書館だより No. 142

別海町郷土資料館

・別海町郷土資料館だより No. 69～80

北海学園大学学術研究会

・北海学園大学学術論集 第127、128号

北海道遺産構想推進協議会

・北海道遺産とまちづくり Part II
 ・北海道遺産びと Vol. 7
 ・ものがたり北海道遺産 Vol. 3

北海道ウタリ協会

・アイヌ民族文化祭 ダイジェスト版 (VHS)
 ・2005イオルフォーラム報告書
 ・アイヌ民族の伝統的生活空間 イオルの再生に向けて
 ・98「国際先住民の日」記念事業記録集

北海道ウタリ協会様似支部

・様似の歴史とアイヌ民族

北海道開拓記念館

・北海道開拓記念館だより Vol. 35No. 4
 ・2005 要覧
 ・特別展ガイド HORSE 北海道の馬文化
 ・北海道開拓記念館研究報告 第19号 鯨漁場からみた北海道の近現代史
 ・北海道開拓記念館調査報告 第45号
 ・北海道開拓記念館研究紀要 第34号

北海道観光連盟アイヌ文化部会

・アイヌ文化を理解するための手引き：新たな観光を目指して

北海道教育委員会

・市町村における発掘調査の概要 平成17年度 (CD)

北海道史研究協議会 (編)

・北海道の歴史と文化：その視点と展開

北海道大学総合博物館

・北海道大学総合博物館ニュース 12号
北海道大学大学院水産科学研究院、水産学部
 ・北海道大学水産科学研究院彙報 第56巻第2、3号
 ・北大水産紀要 Vol. 52No. 1/2
 ・海洋調査漁業試験要報 第49号

北海道大学大学院文学研究科

・環北太平洋の言語 第13号
 ・サハリン北方先住民族文献集 人類学・民族学篇 1905～45
 ・『北海タイムス』掲載のサハリン及び北海道先住民族に関する記事データベース
 ・ツングース言語文化論集30ウルチャロ口承文芸原文集3

北海道大学北方諸民族研究教育体制整備に関するワーキンググループ

・北海道大学シンポジウム 先住民族と大学報告集

北海道文化財保護協会

・北海道の文化 Vol. 78
 ・文化情報 第287～292号

北海道埋蔵文化財センター

・恵庭市西島松5遺跡(3) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書209
 ・白滝遺跡群VI 北海道埋蔵文化財センター調査報告書223 (3分冊)
 ・恵庭市西島松5遺跡4 北海道埋蔵文化財センター調査報告書224
 ・千歳市チブニー2遺跡(3) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書225
 ・江別市対雁2遺跡(7) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書226
 ・共和町上リヤムナイ遺跡・リヤムナイ3遺跡(2) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書227
 ・早来町大町2遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書228
 ・恵庭市柏木川4遺跡(2) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書229
 ・釧路町 東陽1遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書230
 ・北斗市矢不來6遺跡・矢不來11遺跡・館野4遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書235

北海道立北方民族博物館

・北方民族博物館だより No. 60、61
 ・北海道立北方民族博物館研究紀要 第15号
 ・平成17年度企画展 イヌイト・アートの世界
 ・環北太平洋の環境と文化
 ・平成17年度 年報
 ・第20回北方民族文化シンポジウム報告 文化の十字路：北太平洋沿岸の文化

北海道立文書館

・北海道立文書館研究紀要 第21号
 ・北海道立文書館史料集第21北海道庁例規集第I期 庁令等布達編(8) 明治28年
 ・北海道内私文書所在情報一覧 第3集

幕別町教育委員会

・ウメコウボボ全曲集 けうとうむ

宮川泰次

・新聞の見出しに見る 大沼公園に紅葉館のあった頃

芽室町教育委員会

・芽室町大成遺跡1～3
 ・芽室町大成2遺跡2

盛岡市先人記念館

・盛岡市先人記念館だより No. 36

ヤイユーカーの森

・Yay Yukar Park 52、53

結城庄司研究会

・北海道アイヌ(ウタリ)協会史 研究1報告書

利尻町立博物館

・利尻研究 第25号

留萌市海のふるさと館

・留萌市海のふるさと館紀要 第17号
 ・潮騒留萌市海のふるさと館々報25号
 ・留萌市海のふるさと館収蔵資料目録11生活7

行事など

●アイヌ語地名を歩く—山田秀三の地名研究から— 2006・釧路／十勝

前号でお伝えしたとおり、釧路市立博物館との共催で、9月2～24日までに同館にて企画展を開催しました。



現在、帯広百年記念館との共催 釧路市立博物館(1F)の展示会場で、下記のとおり同館にて企画展を開催中です。詳細はセンターのホームページでご覧いただけます。

期 間 9月30日(土)～10月15日(日) 9:30～16:30
10月2日・10日が休館日です。

会 場 帯広百年記念館(帯広市緑ヶ丘2/0155-24-5352)

入場料 無料

関連行事

■講演会「古地図の世界——十勝の古地図、山田秀三文庫の古地図——」

講師 高木崇世^{たかぎ たかし}氏(アイヌ語地名研究会会員)

日時 10月14日(土) 14:00～16:30

●2006サイエンスパーク

去る8月9日(水)、北海道と独立行政法人科学技術振興機構の共催による「2006サイエンスパーク」が、それぞれの試験研究機関等の研究成果の一端を知っていただく機会として、サッポロファクトリー(札幌市)にて開催され、

全体でおよそ4000人の来場がありました。

当センターも参加し、アイヌ文化に関するパネルの展示や「ポンカンピソシ」の配布などの他、30分間の「体験コーナー」では

20名の参加者に、アイヌの楽器「ムックリ」(口琴の一種)の鳴らし方を指導しました。

詳細はセンターのホームページで紹介しています。

「センターだより」はセンターのホームページに掲載しています。最新号は発行日から約2週間後に掲載します。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/abc>

平成18年度前半の動き

■人事短信

・杉本堅治 所長退職(3月)

・泉川睦雄 所長着任(4月)

■行事ほか

・北海道大学「アイヌ・先住民研究センター」設置準備ワークショップ(札幌市/参加:古原、小川)(6月)

・「北海道内の主要アイヌ資料の再検討」調査(札幌市/参加:古原)(6～7月)

・北海道立北方民族博物館講座「北太平洋の踊りと音」(網走市/講師:甲地)(7月)

・平成18年度研究センター運営協議会(9月)

・「アムールランド文化とアイヌ物質文化形成に関する言語・生態人類学的研究」調査(ロシア/参加:古原)(9月)

センターの刊行物

9月までに次の4点の刊行物を発行しました。

・『北海道立アイヌ民族文化研究センター年報 2005(平成17年度)』

・『アイヌ民族文化研究センターだより』25号

・『アイヌ語十勝方言の基礎語彙集—一本別町・沢井トメノのアイヌ語— 北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書3』

・企画展図録『アイヌ語地名を歩く—山田秀三の地名研究から— 2006・釧路／十勝』

上記の刊行物は、道内外の関係諸機関に配布しています。

『年報』と『だより』は、センターのホームページにも掲載しています。『調査研究報告書』は、北海道行政情報センター(道庁別館3F/011-231-4111内線22-389または011-241-7979)で有償頒布しています。

企画展図録は、企画展会場及び草風館(03-3242-1601)で発売しています(1050円)。

編集・発行 北海道立アイヌ民族文化研究センター

2006年9月29日

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 5階

電話 011-272-8801(代) FAX 011-272-8850

月～金/9:00～17:00(土・日・祝日/休)

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/abc>



古紙配合率100%、白色度70%の再生紙を使用しています。